

AEON

AEON KYUSHU 2024
CORPORATE PROFILE

イオン九州株式会社

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。

イオンは、小売業が平和産業であり、人間産業であり、地域産業であると信じ、その使命を果たす企業集団として永続するために、お客さまを原点に絶えず革新し続けてゆきます。

平和は、戦争や災害からの復興にしても、平穏な生活の維持・増進にしても、能動的で意識的な関与なしにはもたらされません。こうした思いの原点には、岡田卓也名誉会長相談役の実体験があります。戦後、チラシを手にして店頭に並ばれたお客さまが「戦争が本当に終わったんだ」と涙された姿を見て、小売業の存在こそが平和の象徴であると実感したと言います。そこから、小売業が成り立つためには平和が大前提であり、小売業は平和の維持に貢献していかなければならないと決意したのです。

平和とは、戦争や暴力がないというだけに止まりません。心の安寧に加えて、戦争や災害さらにはさまざまな不幸から立ち上がり、乗り越える力をも含むものです。21世紀になっても戦争は止まず、大震災や異常気象などの自然災害が頻発しています。今こそ平和の価値があらためて問い直されています。平和はそのままでは与えられるものではありません。平和は、わたしたちが能動的で意識的に関与することによってはじめて保たれるのです。

イオンは平和に反することは決して行いません。また、そうした行為や活動には与しません。イオンが目指すのは積極的な平和への貢献です。

人間に関しては、一人ひとり信じ、尊重することで、その人の能力や思いが花開き、さらに人とつながることによって、より幸福な状態が生じます。

岡田名誉会長は、小売業を「人間くさい産業」と呼びました。それは「人の道」を重んじること、すなわち人間を尊重することです。個性、尊厳、自律性の尊重は言うまでもありません。それに加えて、人間が持つ可能性を信じ、仕事や学びを通じて成長し、よりよく人間的になることを後押しすることでもあります。人間はひとりで成長することは困難です。「人とのつながり」のなかで、他者とともによりよく人間的になっていくのです。それは幸福の実現であるとともに、人の間にある規範を求めるものでもあります。小売業は人々の幸福と規範の産業なのです。

地域もまた、地域ごとの多様性と自立性に敬意を払い、その特有のニーズに応え、手入れをし続けることによってはじめて豊かなコミュニティが実現します。

小売業はもともと地域に根ざした産業であり、地域とともに繁栄するものです。地域やそこにおけるコミュニティの豊かさを守っていくためには、不断に手入れを怠らないことが必要です。それは、小売業の重要な

使命のひとつなのです。これからはますます、地域やコミュニティの重要性が増していきます。イオンは、地域に特有の産品を發展させ、地域の人々の豊かな暮らしを促進し、地域やコミュニティの繁栄に能動的に貢献してゆきます。

イオンが目指しているのは、こうした平和への積極的な関与・人間の幸福と規範の下支え・地域の繁栄への貢献です。それが「お客さまを原点に」、すなわちお客さまを第一にするということの重要な基盤なのです。

お客さまを第一にするということは、自分第一ではない、つまり自分たちの都合で考え、動くのではないということです。その反対に、常にお客さまを第一に考え、誠実に行動すること、これがイオンの基本です。これを自分を映す鏡とし、すべてのイオンメンバーのあらゆる判断と行動の基準とします。ややもすれば自社や自分にとって有利なこと、都合の良いことに流されがちになりますが、そうした傾向を断固否定し、乗り越えてゆくことが求められています。

そのためには、イオンは革新し続ける企業集団でなければなりません。

企業にとって、成長し存続し続けることは最重要の課題です。しかし、革新し続けることなくしては、企業は衰退し滅亡してしまいます。たとえ現状を続けることが安定的で楽なことであっても、それに安住せず、常に自らを変えていかなければなりません。そして、革新し続けるためには、お客さまの変化やさまざまな社会の変化について、常に先を見る先見性や洞察力が必要です。イオンメンバーの一人一人は、お客さまの生活や社会が求めるものの進化と変化を先取りしてゆく所存です。

家業から企業へ、そして産業へとイオンは変貌してきました。もともとダイナミックな企業文化を備えているのです。何よりも恐れているのは、ますます激しくなっていく変化の中で、求められる革新や企業家精神を失い、大企業に特有の停滞に陥っていくことです。変化することのない、現状のままが続くような静的な均衡は続きません。より新しい革新に取って代わられないためには、イオンが最大かつ最先端の革新者であり続けるしかありません。それは創業の精神を保持することで常に刷新し続け、時代を先取りした組織であるという覚悟なのです。

イオンは、以上のことの浸透と実践を通じて、平和、人間、地域の維持と発展に貢献しうると信じて、行動してゆきます。

文

イオングループ未来ビジョン

一人ひとりの笑顔が咲く 未来の暮らしを創造する

イオングループが実現したい未来は、お客さまが「明るくなっていく社会」と「自分らしい幸せ」を実感できることで「心豊かに暮らし、笑顔が広がる」未来です。

イオングループのありたい姿は、暮らしの共創をリードし、一人ひとりも社会全体もより豊かにするグループです。

イオングループ未来ビジョン 詳しくはこちら
https://www.aeon.info/company/code_of_conduct/



イオン九州経営理念

イオン九州は、お客さま満足と従業員の自己実現のため、
絶えず「変革」と「挑戦」を続け、九州の成長とくらしの豊かさに貢献する

イオン九州パーパス

私たちの「たからもの」九州をもっと

先陣一歩の覚悟です。ワクワクの笑顔、あたたかい声掛けが成長の原動力。お客さまの笑顔が喜びです。

中心で働く人、中心に居る人、そして支える人。職域を超えて多様な「人」が、集まる九州の強みです。「イオン九州」という言葉を共に人、成長させてください。

お客様からの「ありがとう」、仲間からの「ありがとう」、地域のつながりから生まれる成長が、私どもの原動力です。

九州からすべての「つながり」を本質にし、豊か暮らしを築き、成長を共にする中で、私たちが「変革と挑戦」を続けていきます。

イオン九州のサステナビリティはこちらから

イオン九州サステナビリティ基本方針

**たくさんの
笑顔を、
もっとカタチに**

私たちは創業以来、あしたの九州のためにできることを考え、地球や人にやさしいサステナブル活動をコツコツと続けてきました。いまは「私たちの「たからもの」、九州をもっと」というパーパスを掲げています。

これを遂行するには、一人ひとりが個人として、社会人として、地域人として、九州人として、地球人として、「いま周りのために何をすべきか」を常に問い続けることが重要です。

私たちは、そのグローバルな視点を忘れずに、全てのステークホルダーとの「つながり」を大切にしながら、これからの「豊かな暮らし」と「健全な地球環境」を生むために、日々の「変革」と「挑戦」を積み重ねていくことを誓います。すべてはかけがえない九州という「たからもの」を守り、たくさんの笑顔をもっとカタチにするために。



マテリアリティ(重要課題)

目指す社会 すべての人が笑顔でいられる社会へ	あるべき姿 人とひと、想いをつなぎ新しい未来をつくる
----------------------------------	--------------------------------------



TOP MESSAGE

トップメッセージ

**徹底した現場主義で、よりお客さま満足度の高い
「九州でNo.1の信頼される企業」へ、さらなる進化を続けます。**



イオン九州は、2020年9月のマックスバリュ九州およびイオンストア九州との経営統合以降、地域に根差した経営の実践と、より強固な経営基盤の構築を図ってまいりました。新中期経営計画[2024-2026年度]の初年度にあたる2024年度は、これまで進めてきた具体的な施策を、スピード感を持ち着実に推進してまいります。

都市部と地方のニーズを見極め、 地域のお客さまに寄り添う

イオン九州の店舗は九州7県と山口県に340店舗以上あり、それぞれに地域の生活文化や競争環境が異なります。都市部では、新業態「マックスバリュ エクスプレス」「ウエルシアプラス」の出店を加速。「ザ・ビッグ」「ザ・ビッグエクスプレス」では、ローコスト運営を可能にする標準店モデルを確立します。一方、他店との競争がより激化していくことが予想される地方では、シニアのお客さまだけでなく、若いお客さまの来店動機を創出していく必要があります。まずは、店舗自体の魅力を強化し、リアル店舗ならではの体験やサービスを提供すること、それと同時に、地域に応じた商品展開や、生産者・行政と連携した持続可能な地域貢献に向けた取り組みもさらに強化してまいります。

「値ごろ感」と「利便性」で他店と差別化を

昨今の物価高の影響で、価格に敏感になっているお客さまは確実に増えています。そのため、私どもとしては、安心安全かつ値ごろ感のあるイオンのプライベートブランド「トップバリュ」と、九州のお客さまに人気のナショナルブランド商品を、季節ごとに厳選し、メーカーさまの協力を得ながらお値打ち価格でご提供していく「しあわせプラス」を2本柱として継続しながら、価格の面でもお客さまに寄り添っていきたく考えています。また、Eコマース・ネットスーパーの利便性アップと、商品のPC(プロセスセンター)戦略やDX(デジタルトランスフォーメーション)化、物流改革による、店舗の省力化と効率化も急務と考え、実行してまいります。



会社と従業員一人ひとりの理想を重ね合わせ、さらに前進

私は、前職でイオン中国本社の取締役社長を務め、2024年3月、イオン九州に着任いたしました。今後は、長年の営業経験、海外での知見、持ち前の粘り強さとコミュニケーション力をいかし、現場・現物を見ながら、現状の課題解決にあたっていく所存です。

また、従業員一人ひとりが、会社の目指す姿と自分の理想を重ね合わせ、やりがいを持って取り組むことが、さらなる会社の発展につながると確信しております。

100年企業へ向けて、若手社員が中心となって策定したパーパス「私たちの『たからもの』九州をもっと——。」イオン九州は、若い感性と九州で長年培った経験をもとに、よりお客さま満足度の高い「九州でNo.1の信頼される企業」を目指し、絶え間ない進化を続けてまいります。

イオン九州株式会社 代表取締役社長

中川 伊正



経営指針

イオン九州は、収益力の強化とさらなる成長の結果九州でNo.1の信頼される企業をめざします。

中期経営計画 (2024~2026年度)

九州の「もっと」を創造し、九州の発展と暮らしの豊かさ、そして、持続可能な社会づくりに貢献できる企業であり続けるため、5つの取り組みを進めてまいります。

成長領域へのシフト

- ・ウエルシアプラス、エクスプレス・ザ・ビッグの出店加速
- ・ネットスーパー、ECの伸長

商品改革

- ・デリカ改革推進
- ・伸長カテゴリーの更なる進化
- ・専門店化の推進



既存資産の魅力度向上

- ・積極的な活性化及び業態変更
- ・S&Bの実施

生産性・経営効率の向上

- ・省人化対応の進化
- ・AI活用

サステナブル経営の推進

- ・マテリアリティ(重要課題)への対応
- ・人的資本経営の推進

事業ポートフォリオ戦略

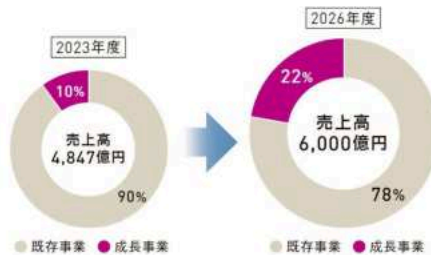
自社が注力する事業を中心に継続的な成長の実現

成長事業

ウエルシアプラス・エクスプレス・ザ・ビッグの出店加速

既存事業

積極的な活性化および業態変更・S&Bの実施



文A

植樹本数



906,115本

1992~2023年

店頭リサイクル回収量



約2,434t

2023年度

文A



イオン九州が描くこれからの未来

イオン チアーズクラブ数とメンバー数

22クラブ 213人 

2023年度

イオン九州が描

九州で
信頼される

“ずっと”
“もっと”

マイバッグ持参率 (イオン九州のみ)

76.1%

※紙袋含む



2023年度

九州力作野菜・果物

前年比
129%

商品取扱金額

1,191,328千円



生産品種

32種

2023年度

ペットボトルキャップ回収量とワクチン相当量

96,019,500個
(概算) **48,010**人分

2023年度

イオン幸せの黄色いレシート団体への寄付金額

41,748,500円 **1,073**団体

登録団体数

◎これまでの累計寄付総額/563,621,313円

2023年度

くこれからの未来

NO.1の
企業への挑戦

を大切に、
を創造する

フードドライブ実施店舗

279店舗



2023年度

ご当地WAON (九州版) 寄付金額

2023年度分寄付金総額

52,587,053円

◎これまでの累計寄付総額/477,954,323円 ◎累計発行枚数/1,451,605枚

2023年度



女性管理職数・率

約**27.5%**

853人

2023年度

保育園設置数



3か所

年間休日数



125日

※うち20日は長期休日
2024年度

事業紹介

BUSINESS INTRODUCTION

変化と進化を続けながら
地域の皆さまに愛される
「お店づくり」をめざしています。



イオン／イオンスタイル

衣料品・食料品・住居余暇商品を取り扱う総合スーパーで、九州で68店舗を展開。イオンのプライベートブランド「トップバリュ」や「ホームコーディ」など、多様化するライフスタイルに合わせた品揃えで、お客さまの豊かな日々の暮らしの実現を応援しています。



マックスバリュ

「便利」「安い」をコンセプトに、日常生活に必要な食料品・家庭用品を中心とした品揃えで、九州で123店舗を展開しています。2016年からは、お客さまの暮らしの多様化に合わせた、「ライフスタイル提案型」店舗の展開も行っています。



事業紹介



マックスバリュエクスプレス

マックスバリュのコンセプトに加えて、人口の都市回帰に応えるべく、小商圏かつ利便性を重視した都市型小型店舗です。低投資・高速出店のスタイルで、九州で36店舗を展開しています。



ザ・ビッグ／ザ・ビッグエクスプレス

「買えば買うほど安さがわかる」をコンセプトに、お値打ちな商品の大量陳列やビッグオリジナル商品を品揃えし、九州で30店舗を展開しています。日常生活に必要な食料品・家庭用品を中心にお客さまの豊かな生活を支えます。



ホームワイド

「地域のお客さまとともに、余暇活用・コミュニティづくりの拠点」をテーマに、九州・山口で30店舗を展開。DIY用品、ペット売場や園芸売場など、生活を彩る豊富な商品と幅広いサービスが魅力です。



ホームワイドプロ

「PRO FIRST」をコンセプトに建設業関連に携わる職人の方のいかなるニーズにも対応できる幅広いアイテム数と在庫数を誇ります。主に建設業関連の工具・金物・その他作業用品などのプロユースに特化した商品を取り扱い、低価格で提供しています。



GREEN PICNIC

「みどり」をコンセプトに、「買う」「食べる」「遊ぶ・すごす」「地域とつながる」という4つのテーマの「多目的ガーデニングプレイス」。ミレニアル世代を中心としたファミリーの方々をはじめ、さまざまな世代のお客さまに楽しんでいただけるお店です。



イオンバイク

子供用から大人用まで幅広いタイプの自転車を品揃える自転車専門店で、九州で32店舗を展開。豊富な専門知識をもったスタッフが販売から修理まで行いお客さまの安全・安心な自転車ライフをサポートします。



ウエルシアプラス

地域のお客さまのWell-beingの実現と、地域の健康ステーションを目指す新しいスタイルの店舗として、調剤併設型ドラッグストアと生鮮食品・お弁当・惣菜まで揃えたスーパーマーケットが融合したお店です。



FS(フードサービス)事業

イオン九州が持つ経営資源を最大限に活用し、ショッピングセンターの来店動機となりうる飲食・食物販の導入を推進し、ショッピングセンターの価値向上を目指す事業です。



ディベロッパー事業

約2,600の専門店さまとのパートナーシップのもと、地域の方々に支持をいただける、ショッピングセンターづくりに取り組んでいます。販売・教育支援や、店舗開発・不動産管理などを行っています。





子育てと仕事を両立しながら
自分を高めていきたい

衣料・住居・余暇商品本部
メンズ商品部カジュアル担当バイヤー
渡邊 祐未子（入社18年目）

文A



多様な人材をいかす経営

多様な人材をいかす経営

DIVERSITY

●人的資本経営

人材を価値創造の担い手として投資する対象であると考え、人材の成長を通じた「企業価値の向上」を目指します。経営理念や事業戦略実現のための人的資本について、各事業特有の人的課題を「各事業戦略実現のための人材上の課題」、全社共通での人的課題を「全社共通で人的資本の価値向上につながる課題」という二つのアプローチで整理を行い、以下の通り4点を重要課題として掲げています。4点の重要課題に対し、会社の戦略実行力を強化すること、従業員の意欲を高め応えることを意識しながら、人・組織への投資を行っております。また、それぞれの課題に対しKGI・KPIを設定し、実効性を高めてまいります。

各事業戦略実現のための人材上の課題
(各事業特有)

一人ひとりの挑戦と変革

新しい勝ち筋・勝ち方を創出し、
中長期的な企業価値の向上を実現するため、
従業員の挑戦を引き出すことに取り組む

必要スキルを持つ人材の適材適所

既存事業の生産性を向上させ、
成長実態を確認するため、
専門性の高い人材の採用・育成に取り組む

全社共通で人的資本の価値向上に繋がる課題

自律的なキャリアデザイン

従業員の自己実現のため、
自律的なキャリアデザインと
リスキル機会の支援に取り組む

従業員のウェルビーイング

多様な人材がいきいきと働き、
能力を最大限に発揮するため、
エンゲージメントの高い職場の実現に取り組む

1年半の出産育児休職を経て 念願のバイヤー業務に復帰

2006年4月に入社し、入社当時はレディース売場に配属されました。その後、1・2店舗転勤をする中で、メンズ売場も担当し、3年目ごろにイオン菊陽店（現在は閉店）で衣料品売場の主任に。のちに衣料販売課長を任されました。そのころに受けたバイヤーになるための研修がきっかけで、4年前から本社メンズ商品部でバイヤーとして勤務しています。出産を機に1年半ほど育児休職をいただき、復帰後1年はサポート業務をしていましたが、先月前職に復職しました。バイヤー業務は、商品企画、仕入れ、競合他社の調査など、仕事は多岐にわたり大変ですが、自分で決めた商品が売れた時の喜びとやりがいは、ひとしおです。

イオン九州は、育児勤務制度、時短勤務制度、育児転居制限制度、ヘア転勤制度などが充実していて、育児勤務者に理解があると感じています。私の場合、保育園に通う2歳4か月の娘がいますが、同じ社員で勤務時間帯の違う夫と協力し合いながら、ヘア転勤制度と19時以降の勤務が免除される育児勤務制度を利用し、フルタイムで働いています。出張もありますが、両親のサポートのおかげで、なんとか仕事と育児を両立できています。

女性らしい感覚を取り入れ 常に新しい挑戦を

平日は早朝5時起きのアワただしい毎日ですが、日中は全力で仕事をして、休日は子どもと向き合う時間を大切にしています。子どもとの時間は、私にとっていい息抜きでもあります。休日は、一緒にショッピングモールなどに出かけては、仕事の時とは違う消費者目線で、ファミリーの動向や、お父さんたちのファッションを観察しています。最近の若い世代には、ジェンダーレスな感覚も浸透しているため、メンズ服に女性らしいアイデアを取り入れながら、常に新しいことに挑戦していければと考えています。

私自身が、働く母の姿を見てカッコいいと感じていたので、私もなるべく仕事を続けながら、自分を高めていければと思っています。キャリアアップについては、子どもの成長に合わせながら、柔軟に考えていきたいですね。



「店舗に並ぶ商品の先を知りたいと思い、バイヤーに興味を持った」という渡邊さん



●ライフステージに応じたサポート

日給月給の社員の場合

出産・育児や親の介護、定年後の働き方まで、ライフステージに合わせたさまざまな福利厚生制度が整っています。

育児休職 子どもが満3歳に達するまで取得可能	介護休職 介護勤務 最長2年間の休職、3年間の間で3回まで時間短縮勤務が可能
リ・エントリー制度 円満退社の場合 事前申請により復職が可能な制度	育児勤務 子どもが中学卒業まで時間短縮勤務が可能
転居停止制度 最長6年間転居をともなう転勤の修正を申請することができる制度	自己申告制度 年1回、今後のキャリアや家族状況について自己申告できる制度
定年再雇用制度 65歳定年後、70歳まで社員として継続して勤務する制度	社宅制度 必要に応じて社宅を会社が手配する制度
ヘア転勤制度 社内夫婦で同じエリアへの転勤を申請することができる制度	勤務エリア選択制度 自らのライフプランに合わせて勤務エリア(転居転勤の範囲)を選ぶことができる制度
育児転居制限制度 育児を事由に、希望者に対して一定期間の転居転勤の制限を申請することができる制度	

●身だしなみ基準

※安全・安心・衛生基準の観点でルールを遵守しています。

従業員の多様な価値観を尊重し、2024年3月より服装や髪型や装飾品等の身だしなみ基準を見直しています。誰もが働きやすく働きがいのある会社を目指して、多様な人材が活躍できる環境整備に努めています。

◎新しい身だしなみ基準

服装 TPOを意識した服装を自ら判断	ネクタイ TPOに応じて着用
ヘアアクセサリ 装着可	髪 髪色、髪型自由
指輪・ネックレス・ブレスレット 装着可	爪 ネイル可

●イオンの事業所内保育園

出産・育児休職からのスムーズな復職と、子育て中の活躍支援のためのイオングループの事業所内保育施設です。イオングループの従業員、テナント企業や地域住民の方もご利用可能です。





マネジメント力を磨き、
会社の売上に貢献していきたい

マックスバリュE.M.X
博多消防署通り店/住吉店 店長
宇都 史晃 (入社11年目)

文

多様な人材をいかに経営

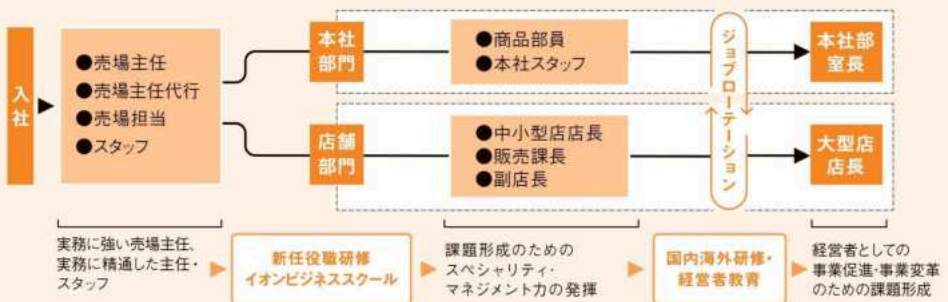
● 社員の意欲に応える教育体制

「教育は最大の福祉」という考えのもと、従業員の力を最大化させる教育に力を入れています。また、「自らのキャリアは自ら切り拓く」という考えに基づき、さまざまな教育プログラムに自ら手を挙げることによって、自己成長が可能です。



● キャリアアップ

店舗での基礎業務から本社での統括業務まで個々の適性・能力・意欲に合わせた継続的なキャリア制度が整っています。



「30歳までに店長」を目標に 一步一步キャリアアップ

大学時代、地元・鹿児島のマックスバリュでアルバイトをしていたこともあり、会社の雰囲気は知っていました。またイオン九州が年齢や社歴に関係なく、資格登用試験に合格さえすれば昇進昇給できることに魅力を感じ、2014年4月に入社しました。鹿児島、長崎、福岡で、マックスバリュの店舗をいくつも転動しながら、農産部、農産部主任として経験を積み、2021年11月にMVエクスプレス(以下MVEX)姪浜駅前店で副店長に。2024年1月からはMVEX博多住吉店と博多消防署通り店の店長を兼任しています。確固たる根拠はなかったのですが、入社当時の目標は「30歳までに店長になること」でした。社内の教育制度「イオンビジネススクール(以下ABS)」に応募して、「SM店長・GMS販売課長コース」を受講したのは、姪浜駅前店で副店長になり3か月ほどたったところです。通常業務をしながらの受講と課題提出は、決して楽ではありませんでしたが、ABSで学んだことで仕事への意識が変わり、受講仲間からもよい刺激を受けました。その時学んだ商圏調査や競合店調査、現状分析などの実践的な考え方は、店長となったいま、さっそく役に立っています。

自ら希望すれば、 全面的に後押ししてくれる会社です。

店長としての目下の目標は、適正な人員配置と効率的な運営で、博多住吉店と博多消防署通り店の2店舗を合計で黒字にすることです。それに向け、近くの競合店にたびたび足を運び、競合店と自店の違いや、競合店にはない自店の強みを分析し、改善できる部分は改善し、強化できる強みはより魅力的に打ち出すなど、さまざまな対抗策を講じているところです。

また、従業員の管理という点では、一人ひとりが心身とも健康的に、楽しく仕事に取り組めるように、日ごろからこまめなコミュニケーションを心がけています。従業員の前向きな働きが、店舗全体の売り上げにもつながっていくと考えているからです。

今後は、自分のマネジメントスキルを磨き、管轄できる範囲をさらに広げていくことで、会社の売上に貢献していきたいと思っています。そのために機会があれば、引き続き社内やイオングループの教育制度を積極的に活用していきたいですね。

イオン九州は、自らが希望すれば、それぞれの進みたいキャリアに向けて全面的に後押ししてくれる会社です。皆さんもぜひ、イオン九州で自分の夢を叶えてください。

文

●健康経営の推進

イオン九州は「人間尊重」の経営を志し、「従業員の志を聴き、従業員の心を知り、従業員を活かす」ことを人事の基本理念として、従業員一人ひとりの職場・家庭・地域生活が共に充実していることを人事の行動理念としています。そのすべての土台となるのが「従業員とその家族の健康」です。従業員一人ひとりが心身ともに健康で、長く働き続けたいと感じ、働く意欲に満ちた存在であること、そして健康な従業員が幸せな地域生活を送り、お客さまの健康と幸せの実現に貢献することが、イオン九州の健康経営で実現したい姿です。

◎従業員の心身の健康のために

心と身体の健康

- ① 定期健康診断受診
- ② 特定保険指導実施

安全・安心で活力ある職場づくり

- ① 禁煙の推奨
- ② 労働時間の適正化

健康リテラシーの向上

- ① 健康ポータルサイトPepUpによる健康の維持・改善
- ② 健康チャレンジキャンペーンの実施による健康の維持・増進

イオン健康経営宣言

イオンは、従業員と家族の健康をサポートします。
そして、従業員とともに地域社会の
健康とハピネスを実現します。

ヘルス & ウェルネスの推進
健康への関心と知識の向上

従業員の健康状態を
心身ともに向上することで実現

生産性・創造性の向上
活力ある職場 創造力の向上
地域のお客さまへの
サービス向上

従業員満足度の向上
従業員と家族の健康維持・増進
働きたい安心できる
企業・職場へ

●健康経営優良法人2024に認定

「健康経営優良法人」は経済産業省と日本健康会議[®]が2016年より新たに開始した優良な健康経営を実施している法人を認定する制度です。

※国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと、実効的な活動を行うために組織された活動体、経済団体、医療団体、保険者など民間組織や自治体が連携し、職場・地域で具体的な対応策を実現していくことを目的としています。



イオン九州の

イオン九州では、店舗内でのデジタル化やAI導入による効率化
 います。また、幅広い分野での寄付活動やリサイクルイベントなど

DIGITAL デジタル

1 デジタルサイネージ



“スマートモール”推進の一環として、各店舗に導入。デジタル化により情報発信力を強化するとともに、紙資源の削減にもつなげています。



2 「レジ」と「レジゴー」



お客さまが、貸出用もしくはご自身のスマートフォンでお買い上げの商品のバーコードをスキャン。レジで並ばずに買い物ができるサービスです。



3 AIシフト



レジ稼働実績や客数予測から算出される必要レジ稼働台数に対して、従業員のスキルや勤務条件を加味したレジシフト・ワークスケジュールを自動で作成するシステムです。



4 ベビールーム空き状況確認ツール



二次元コードを読み取ると、ベビールーム授乳室の空き状況がお店から離れたところからでも瞬時に確認できるシステムです。



イオン九州の取り組み(店舗内)

CSR activities 社会貢献

1 ペットボトルキャップ回収キャンペーン



ペットボトルのキャップを集め、リサイクルした収益金で、ワクチンがなく病気で苦しんでいる世界の子どもたちへワクチンを届ける活動です。



2 ご当地WAON



イオンが提供する電子マネー。ご利用金額の0.1%が自治体などに寄付される「ご当地WAON」など、さまざまな種類を発行しています。



取り組み 店舗内

などで、新しい生活様式に対応したお買い物スタイルを提供して
を通して、豊かな暮らしと環境保全の両立に取り組んでいます。



SUSTAINABLE サステナブル

1 環境特別WAONボーナスポイント



対象商品の購入で、お客さまに進呈するWAONボーナスポイントと同額をイオン環境財団に寄付。森の再生など環境保全活動に役立てられます。



2 リサイクルトレー



従来よりCO₂排出を30%低減した再生容器リサイクルトレーの利用を推進しています。店頭回収したトレー・ペットボトルも使用されています。



3 リサイクルステーション



貴重な資源を捨てずに再資源化するために、お客さまや自治体と協力をしながら店内で紙パック、食品トレー、アルミ缶、ペットボトル等の回収に取り組んでいます。



4 衣料品のサーキュラーエコノミー



「イオン」「イオンスタイル」店頭で、衣料品回収イベントを実施。お客さまご自身が環境に配慮した取り組みを体感いただける機会にもなっています。



3 フードドライブ (食品の寄附活動)



ご家庭で消費しきれない未開封の加工食品を店頭にお持ちいただき、フードバンク団体さまを通して支援が必要な施設などにお届けしています。



4 レッドカップキャンペーン



対象マークの商品の売上の一部を世界の学校給食支援に寄付する取り組みです。イオン九州では、約250店舗で実施しています。



DIGITAL デジタル

1 イオン九州オンライン



イオン九州のオンラインショップ。九州各地のグルメや季節のギフト、日用品、プロの作業用品など、幅広い商品ラインナップを揃えています。



2 イオンネットスーパー受け取り専用ロッカー



駅に設置した「受け取り専用ロッカー」で、イオンネットスーパーで注文した商品を受け取れるサービス。配送料無料でご利用いただけます。



3 スマートNICO



食料品から日用品まで品揃えが可能な、オフィス向けの無人店舗サービスです。24時間いつでもキャッシュレス決済でお買い物ができます。



4 デリバリーサービス「Wolt」「Uber Eats」



スマートフォンなどからの簡単注文で、即時配達する「Wolt」「Uber Eats」。食料品や日用品を注文から30分程度でお届けします。



イオン九州の

日常の暮らしや地域の中でも、ボランティアや環境保全の活動などでお買い物できるネットスーパーや無人店舗サービスをはじめ、



イオン九州の取り組み(店舗外)

CSR activities 社会貢献

1 イオンの里山づくり



綾町イオンの森 植樹祭

約2万本を植樹した「綾町イオンの森」など、地球環境の持続性に貢献する開かれた里山を、地域の皆さまと一緒につくっていく活動です。



2 食の安心安全スクール



地域行政、教育機関と連携し、子どもたちが食に関する知識や理解を深める場を提供。「安全安心な食生活を送るためにできること」を学びます。



3 保護犬猫譲渡会

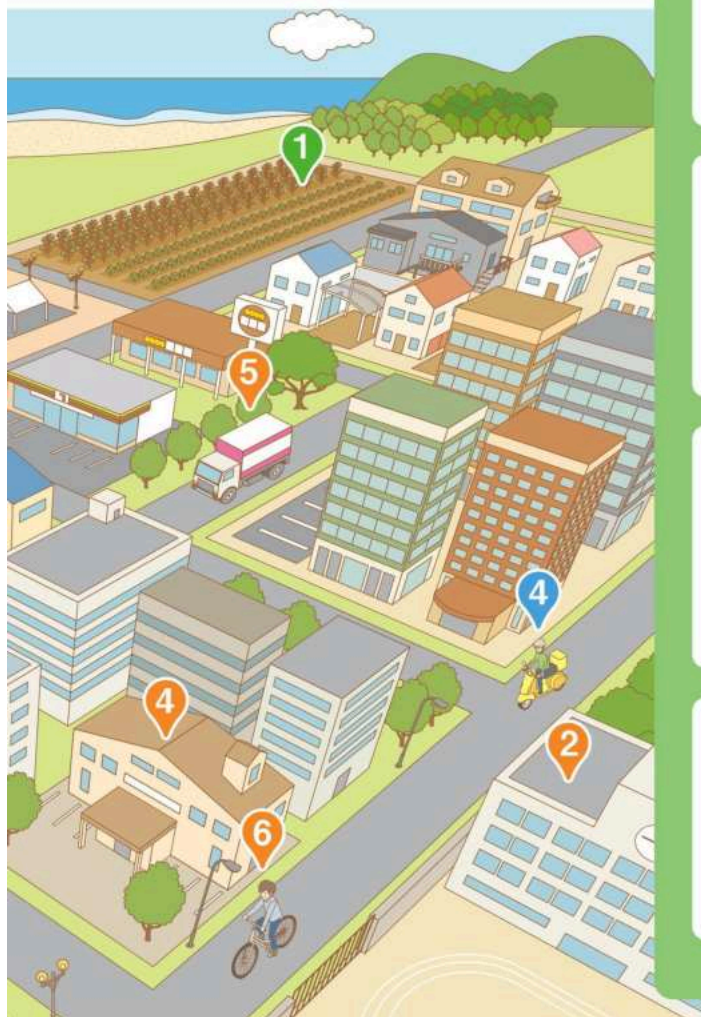


「ホームワイド」を運営するホームセンター事業部は、保護犬猫の譲渡促進に取り組む団体に賛同し、各団体と譲渡会を開催しています。



取り組み 店舗外

さまざまな取り組みを行っています。お客さまがご自宅やオフィス移動販売や配送サービスなど、地域貢献に努めています。



SUSTAINABLE サステナブル

1 食品リサイクルループ



食品廃棄物を回収して堆肥化し、その堆肥を使って栽培した農作物や加工品を販売。株式会社環境整備産業などと連携して運営しています。



2 サステナウィーク



農林水産省・消費者庁・環境省が連携する「あふの環(わ)プロジェクト」活動に賛同し、サステナブル商品の催事販売などを実施しています。



3 九州物流研究会



物流を協調領域と位置づけ、企業の垣根を越えて「2024年問題」「物流危機」などの共通課題への対応策に関する協議を行っています。



4 九州流通サステナビリティサロン



九州小売流通業におけるバリューチェーン全体でのサステナビリティ強化を目指して、賛同企業などと情報連携や啓発活動を行っています。



4 ボランティア給付活動



従業員が地域の福祉施設を訪問し、クリスマス会などのお手伝いをする奉仕活動です。労使双方の拠出による基金の給付で実施しています。



5 イオンの移動販売



生鮮品や総菜、日用品など約400品目を移動販売車に載せて、地域の拠点を巡回して販売。2023年よりスタートした新サービスです。



6 イオンバイク売上の一部寄附活動



オリジナルブランドサイクル「hygge(ヒュッゲ)」の売上金の一部を、支援が必要な団体や災害時の食料支援などに寄附しています。



文A

コーポレートトランスフォーメーションの 取り組み

DIGITAL TRANSFORMATION



データ活用を通してすべての
ステークホルダーを幸せにしたい

デジタルマーケティング部
デジタルマーケティンググループ
マネジャー
任 潔（入社10年目）

文A



コーポレートトランスフォーメーションの取り組み

売場で感じた疑問から 真のデジタル化を模索

大学3年の時、中国から日本の大学に編入。「イオン九州なら、仕事の選択肢が広い」と考え、2014年4月に入社しました。入社3年目、長崎県のイオン時津店で家庭用品売場の主任をしていた時、売場で運用していたLINE広告に疑問を感じたことが、前部署である営業企画部に配属されたきっかけです。現在は、2023年3月に新設されたデジタルマーケティング部でデータ活用によるデジタルマーケティングに取り組んでいます。

その取り組みの一つとして、買物履歴などに基づいてアプリ会員さまを6つのグループに分けました。現在は、各グループごとに同じ商品やクーポンを提案し、その反応から各属性を把握している段階です。テストデータを蓄積し、今後はお客さま一人ひとりの好みに合わせた商品提案やクーポン配信を、効率的に自動化していく予定です。

データ活用で、現場の従業員が もっと生き生きと働ける環境に

デジタルマーケティング部のコンセプトは、データ活用を通して、お客さま、お取引先さま、従業員というすべてのステークホルダーを幸せにすることです。デジタルマーケティングによって、アプリ会員の皆さまには、求めている情報や特典がちょうどいいタイミングで届く。取引先さまにとっては、弊社が企画するアプリ会員さま向けのキャンペーンなどを通して、互いにメリットのあるコラボレーションができる。従業員は、「iAEON（アイイオン）」の利用で、お客さまの利便性を上げられるだけでなく、自分たちの作業負担も軽減できることなどが利点です。

将来的には、現場でも簡単に活用できるデータ整理を進め、売場の従業員がもっと生き生きと働けて、より大切な課題解決に取り組めるような職場環境を整えていければと考えています。

DXの活用による生産性の向上で、 お客さまが笑顔になる「出会い」を生んでいく

CX推進本部のミッションは、お客さまに喜んでいただける商品・サービスとの「出会い」を創出するために、従業員がお客さまと接する仕事に専念できる環境を、テクノロジーの力で実現していくことです。方向性として、①オペレーションの効率化と生産性向上のためのテクノロジーの導入 ②お客さまに対するアプローチのデジタル化があります。①では、「AI発注」(自動発注)、ロボットによる自動補充、フルセルフレジ、電子棚札、AIシフト管理などシステムの研究・導入を順次進め、従業員業務をスマートフォンで完結できるような環境を目指します。②には、ネットスーパー、Eコマースなどの新しい販売手段の強化と、2024年度から本格的に始動するデジタルマーケティングがあり、いずれもテクノロジーの力で、たくさんのお客さまとワンツーワンでコミュニケーションをしていくことが目的です。

CX推進によって、将来的には過疎化が進む地域にも、イオン九州がお客さまに必要とされる「イオン生活圏」を形成していける素地を築くこと。それが私たちの目標です。



デジタルトランスフォーメーション責任者
兼 コーポレートトランスフォーメーション
(CX) 推進本部長

川村 泰平

文A

イオンのトータルアプリ「iAEON」



「WAON POINT」のご使用や電子マネーなどでの支払い、キャンペーン情報の確認などがこれ一つでご利用可能となる便利なトータルアプリです。アプリを通して、グループ各社のサービスを提供しています。



電子棚札



商品の価格表示をデジタル化するシステム。表示売価の間違いやPOPの付け忘れを防ぐとともに、作業人時やPOP資材コストの削減も実現。2025年度までにザ・ビッグを除く全店舗に導入予定です。



AIネビキ



プリンターに接続したスキャナーで商品バーコードを読み取ると、販売実績、販売価格、在庫数、客数予測、天候などさまざまなデータからAIが適切な値引き率を予測し、在庫の数だけ値引きラベルが発行されます。



セルフレジ



お客さまご自身で商品バーコードの読み取りから精算までを行うPOS (Point of sale: 販売時点情報管理) レジシステム。非接触対応の推進、レジの混雑緩和、ショートタイムショッピングの実現を目的としています。



サステナブル経営の実現に向けて

SUSTAINABLE



サステナブルな取り組みを
イオン九州のブランディング力に

コーポレートコミュニケーション本部
サステナブル協創部
猿渡 麻美（入社8年目）

文A

サステナブル経営の実現に向けて

大学で学んだ環境経済学の知識が現在の業務につながっています。

新卒でイオン福岡伊都店のデパート部門^(※)に配属、2019年9月から熊本のイオン宇城店でデパート主任を担当し、2022年3月、新設されたサステナブル協創部に異動となりました。大学では環境経済学を専攻していて「イオン九州は環境社会貢献活動に積極的」という印象がありました。入社当時から環境社会活動への関心を会社に伝えていたことが、現在の配属につながり、大学での学びが、今の業務にもいかされていると思います。サステナブル協創部では、植樹や「幸せの黄色いレシートキャンペーン」や募金活動、各地で行っているボランティア活動などさまざまな環境社会貢献活動の業務があります。また、2022年に始動した「パーパス」策定と「マテリアリティ(重要課題)」特定のプロジェク事務局として、現在は「マテリアリティ」達成のための進捗管理を行っています。

※乳製品・豆腐・卵・冷凍食品・デザート・パンなど、毎日店舗に配送される日配品を扱う売場

さまざまな方々や地域文化に触れ視野が一気に広がりました。

地域貢献活動などでは、これまで知らなかった九州各地の自然や生産物、伝統文化にふれることも多く、またサステナブル協創部では、さまざまなお取引企業さま、行政・団体さまなど、いろいろな分野の方々と接する機会があり、一気に視野が広がりました。今後の目標は、弊社が各地で行っているサステナブルな取り組みを対外的に広く発信していくこと、またそれによって、弊社のブランディング力を強化していくことです。同時に、社内への認知度をさらに高めていく必要もあると考えています。イオン九州には、多彩な職種があり、自ら望みさえすれば、さまざまな世界の人たちとつながるチャンスが広がっています。女性が活躍しやすい環境も整っているので、将来的には、本部マネジャーを目指し、キャリアアップをしていきたいです。

従業員一人ひとりが『自分ゴト』として 課題に取り組めるサステナブル企業へ

イオン九州は、『植樹活動』『幸せの黄色いレシートキャンペーン』『イオン チアーズクラブ』『イオン ハートフルボランティア』など、お客さま、地域の企業・行政さまとも手を携えながら、環境社会のためのさまざまな取り組みを行っています。

また、本年度は2023年度に策定した『マテリアリティ(重要課題)』を、従業員一人ひとりが『自分ゴト(マイバパス)』として考え、実行していくことで、企業価値と長期的な競争力を高める、サステナブル経営を全社的に推進していきます。

イオン九州には、小売業の枠にとらわれない多種多様な職種があり、幅広い選択肢と、キャリアに応じた研修制度、ならびに能力に応じた昇進昇給制度が整っています。

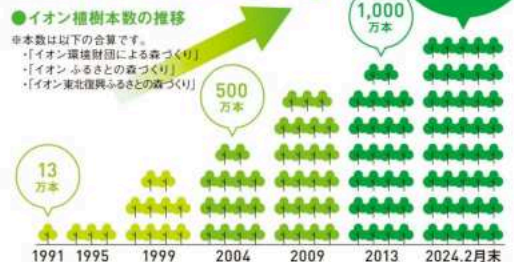
また、多様性を受け入れる労働環境の見直しや、人的資本経営の確立にも着手しました。環境問題や防災対策などの地域課題に、旗振り役となって取り組むことは、私たちが果たすべき社会的責任です。イオン九州が、これからも地域とともに発展していけるよう、すべてのステークホルダーとの「つながり」を大切に、よりサステナブルな企業へと進化してまいります。



サステナブル推進責任者
兼 コーポレートコミュニケーション本部長
兼 エリア推進部長
武富 恭子

文

植樹活動「イオンの森づくり」



新店が開店する時に、お客さまと従業員と一緒に店舗敷地内に樹木を植樹しています。樹木は、地域の自然環境に適した種類を選定。1991年から実施し、30年以上続けてきた環境活動の取り組みです。



イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン



2001年より毎月11日に実施。お客さまに、応援したい地域のボランティア団体のボックスにレシートを投函していただき、レシート合計金額の1%相当の品物をボランティア団体に贈呈しています。



イオン チアーズクラブ



環境と社会をテーマに、体験学習を通して子どもたちの興味・関心を醸成し、考える力を育む場として店舗を拠点に活動しています。農業体験や海岸清掃、生き物調査など、さまざまなプログラムがあります。



イオン ハートフルボランティア



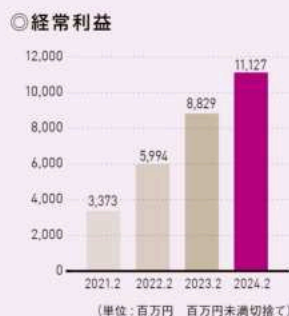
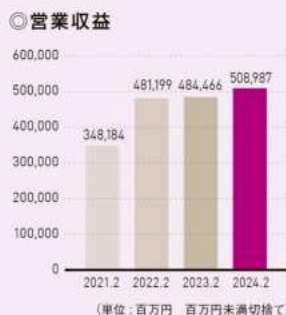
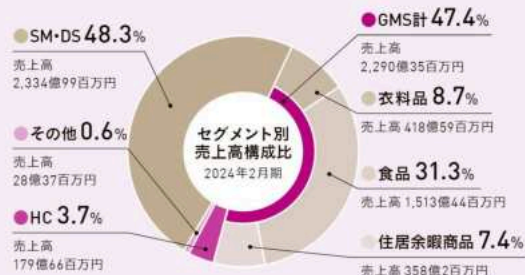
地域が抱える環境・社会課題の解決に向けて、イオン従業員が参加する社会貢献活動です。海岸清掃に取り組む地域環境美化活動や、さまざまな収穫支援など労務共同地域貢献活動を行っています。



会社概要 (2024年2月末時点)

商号 **イオン九州株式会社**
 設立 1972年6月
 資本金 4,915百万円
 社員数 19,261名
 [正社員5,268名、コミュニティ社員(8時間換算)13,993名]
 本社 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南二丁目9番11号 (092)441-0611
 子会社 イオンウエルシア九州株式会社(設立2022年9月)

財務データ



	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期
総資産(百万円)	157,896	158,189	170,633
自己資本(百万円)	41,976	46,257	50,276
自己資本比率	26.6	29.2	29.4
純資産当期純利益率(ROE)	6.8	10.6	15.2
総資産経常利益率(ROA)	3.7	5.6	6.8
1株あたり当期純利益(円)	80.00	134.78	214.30
1株あたり純資産(円)	1,211.90	1,330.89	1,479.48
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△777	14,529	15,270
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△4,039	△7,378	△11,512
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	172	△7,515	△3,823

沿革

- 1972年 3月 福岡市に本店を置く(株)福岡大丸は小売業の基盤と拡大を図るためジャスコ(株)(現イオン(株))と業務提携契約を締結。
- 6月 ジャスコ(株)などの出資により、「福岡ジャスコ株式会社」を福岡市博多区に設立。
- 1973年 2月 (株)福岡大丸の営業(18店舗)を譲り受ける。
- 1974年 6月 福岡ジャスコ(株)1号店となる佐世保店を長崎県佐世保市に開店。
- 1989年 9月 九州地区での店舗展開を推進するために商号を「九州ジャスコ株式会社」へ変更。
- 1992年 11月 佐賀ジャスコ(株)よりジャスコ鹿島店の営業譲受。
- 1994年 2月 大分ジャスコ(株)より営業譲渡。
- 1999年 8月 旭ジャスコ(株)(宮崎県延岡市)と合併。
- 2000年 8月 日本証券業協会(現(株)東京証券取引所ジャスダック)へ株式を上場。
- 2001年 6月 ISO14001を全社一斉認証取得。
- 2002年 5~7月 (株)壽屋より5店舗の営業を譲り受け、開店。
- 2003年 9月 (株)ホームワイドと合併。商号を「イオン九州株式会社」へ変更。
- 2007年 8月 (株)マイカル九州と合併。
- 2010年 1月 イオンバイク1号店が福岡市にオープン。
- 2011年 3月 「ジャスコ」「サティ」を、「イオン」へ店舗名統一。
- 7月 ワイドマートドラッグ&フード1号店が大分市にオープン。
- 2013年 9月 九州7県全域で「イオンネットスーパー」配送開始。
- 2015年 4月 (株)ダイエーの九州地域におけるGMS事業の運営の承継に関する基本合意書を締結。
- 8月 イオンストア九州(株)の事業運営(業務委託)に関する業務委託契約書締結。
- 9月 「ダイエーとイオンはひとつに」新生イオン九州スタート。
- 2016年 9月 マックスバリュ九州(株)と(株)クリエイトが合併。
- 2020年 3月 マックスバリュ九州(株)が(株)レッドキャベツより店舗固定資産取得(13店舗)。
- 9月 イオン九州(株)、マックスバリュ九州(株)、イオンストア九州(株)がひとつになり2020年9月1日「新生イオン九州」スタート。
- 2022年 6月 イオン九州(株)、設立50周年(6月29日)。
- 9月 ウエルシアホールディングス(株)と合併会社「イオンウエルシア九州(株)」設立。
- 2023年 3月 イオン九州の前身、(株)福岡大丸の創業から70周年。



会社概要・財務データ・沿革・ネットワーク&概要

ネットワーク & 概要

イオン九州は、店舗数341店舗、社員数約20,000人の
アイデアとチカラを合わせ、
九州No.1企業を目指して歩み続けています。

イオン九州は、2024年6月時点で、九州7県と山口県に341店舗を展開しています。統合によるシナジーをチカラにスケールメリットをいかすとともに改革を推進し、より地域に密着した店舗づくりや事業展開を目指してまいります。

イオン九州株式会社役員一覧 (12名) (2024年5月24日時点)



代表取締役社長
なかがわ いせい
中川 伊正



取締役 専務執行役員
営業・商品・ディベロップメント事業担当
兼 ディベロップメント事業本部長
おくだ はるひこ
奥田 晴彦



取締役 常務執行役員
管理・コーポレートコミュニケーション・
コーポレートトランスフォーメーション担当
兼 管理本部長 兼 企業倫理担当
あかい まさひこ
赤木 正彦



取締役 相談役
しばた かずひこ
柴田 祐司



取締役
いぬえ たかみ
井出 武美



社外取締役
くろはら あきひろ
黒須 綾希子



社外取締役
ののき かずひろ
榎木 和代



社外取締役
あおやぎ しゅん
青柳 俊彦



常勤監査役
すがい ひろまさ
菅森 弘章



監査役
にいのみ なおまさ
新井 直弘



監査役
ふくかわ かずのり
古賀 和孝



監査役
まつもと かずひろ
松本 一哉

イオン九州株式会社執行役員一覧 (15名) (2024年5月24日時点)



上席執行役員
デジタルトランス
フォーメーション責任者
兼 コーポレートトランス
フォーメーション推進本部長
かわむら しずお
川村 泰平



上席執行役員
食品商品本部長
にしむら よいちろう
西嶋 洋一郎



上席執行役員
衣料・住居全販商品
本部長
うちだ まもる
内田 守



上席執行役員
営業本部長
うちだ まさよ
内田 昌代



上席執行役員
新業態事業本部長
いぬえ たかふみ
椎名 孝夫



上席執行役員
サステナブル推進責任者
兼 コーポレートコミュニケーション
本部長
兼 エリア推進部長
たけとみ きょうたか
武富 恭子



執行役員
コーポレートトランス
フォーメーション推進本部
物流・オペレーション
改革室長
やました ようこ
山下 陽子



執行役員
新業態事業本部
HC事業部長
うだ たかひこ
宇田 敏秀



執行役員
コーポレート
コミュニケーション
本部長兼 社長室長
よしだ けいすけ
吉田 圭司



執行役員
管理本部 副本部長
兼 経営企画部長
兼 財務経理部長
兼 健康経営推進責任者
かねこ りょうこ
金子 亮輔



執行役員
ディベロップメント事業本部
副本部長
兼 リーディング部長
ひぐち たかひろ
樋口 尚大



執行役員
新業態事業本部
ビッグ事業部長
もともら つとむ
本村 努



執行役員
営業本部
鹿児島事業部長
おぐに ひろし
尾籠 拓



執行役員
営業本部
中福岡事業部長
いなかわ たかひろ
蛭川 徳幸



執行役員
食品商品本部
デリカ商品統括部長
兼 デリカMD部長
兼 デリカ開発部長
やまぐち たかひろ
田口 雄樹

イオン
ウエルシア九州
株式会社役員
(2名)

(2024年5月24日時点)



代表取締役社長
あべ しゅん
安倍 俊也



取締役副社長 兼 営業部長
うちだ たかひろ
内田 悦郎

文

主なグループ企業

<p>純粋持株会社</p> <p>イオン株</p>	<p>ディベロPPER事業</p> <p>日本及び中国・アセアン各国で地域と共生するショッピングモールを開発・運営。グループ各事業と連携しながら、サービスの提供や施設の充実を図っています。</p>
<p>GMS(総合スーパー)事業</p> <p>専門性の高い品揃えとサービスで、お客様の衣食住をサポートする総合スーパーを展開しています。</p> <p>イオン九州株 イオン北海道株 株キャンドウ 株サンデー アクティア株 イオンウエルシア九州株 イオンスーパーセンター株</p> <p>イオン東北株 イオンバイク株 イオンリカー株 イオンリテール株 イオン琉球株 オリジン東秀株 トップバリュコレクション株</p>	<p>イオンモール株 イオンタウン株</p> <p>株OPA</p> <p>サービス・専門店事業</p> <p>毎日の生活を一層便利で快適にするサービスの提供と、お客様の幅広いニーズに応える多彩なジャンルの専門店を展開しています。</p> <p>イオンディライト株 株イオンファンタジー 株ココス 株ジーファット 株イオンイーハート イオンエンターテイメント株 イオンカルチャー株 イオンコンパス株 イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株</p> <p>イオンペット株 イオンライフ株 ブランシェス株 株プレスステージシューズ 株未来屋書店 株メガスポーツ リフォームスタジオ株 R.O.U株</p>
<p>SM(スーパーマーケット)事業</p> <p>地域に密着したスーパーマーケット、小型店、コンビニエンスストアを展開。食品を中心に、毎日の暮らしに欠かせない商品の品揃えとサービスの充実を図っています。</p> <p>株いなげや 株フジ マックスバリュ東海株 ミニストップ株 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株 イオンサヴール株 イオンマーケット株 株カスミ</p> <p>株光洋 株ダイエー ピオセボン・ジャボン株 まいばすけっと株 マックスバリュ関東株 マックスバリュ北陸株 株マルエツ</p>	<p>国際事業</p> <p>中国・アセアン各国において、国や地域ごとに異なるニーズやライフスタイルに合わせた商品・サービスを提供しています。</p> <p>[中国] AEON Stores (Hong Kong) Co., Limited AEON (CHINA) CO., LTD. AEON EAST CHINA (SUZHOU) CO., LTD. AEON (HUBEI) CO., LTD. AEON South China Co., Limited BEIJING AEON CO., LTD. GUANGDONG AEON TEEM CO., LTD. QINGDAO AEON DONGTAI CO., LTD.</p> <p>[ASEAN] AEON CO. (M) BHD. AEON BIG (M) SDN. BHD. AEON (CAMBODIA) Co., Ltd. AEON ORANGE COMPANY LIMITED AEON (Thailand) CO., LTD. AEON VIETNAM Co., LTD. DONG HUNG INVESTMENT DEVELOPMENT CONSULTANCY JOINT STOCK COMPANY LIMITED PT.AEON INDONESIA</p>
<p>DS(ディスカウントストア)事業</p> <p>家計を応援し続けるために、商品仕入れの集約、物流の統合など、ローコスト施策を実施し、徹底的に低価格を追求する経営の実現に取り組んでいます。</p> <p>イオンビッグ株 株ビッグ・エー</p>	<p>機能会社・その他</p> <p>イオンのブランド「トップバリュ」での商品開発や品質管理、物流、システム、ITといったインフラ構築を担っています。</p> <p>アビリティーズジャスコ株 イオンアイビス株 イオンアグリ創造株 イオングローバルSCM株 イオンスマートテクノロジー株 イオントップバリュ株 イオンネクスト株 イオンフードサプライ株 イオンペーカリー株 イオンマーケティング株</p> <p>株コルドンヴェール株 株生活品質科学研究所 Aeon Digital Management Center AEON TOPVALU (CHINA) CO., LTD. AEON TOPVALU (HONG KONG) CO., LIMITED AEON TOPVALU (THAILAND) CO., LTD. AEON TOPVALU VIETNAM COMPANY LIMITED Tasmania Feedlot Pty. Ltd.</p>
<p>ヘルス&ウエルネス事業</p> <p>地域の皆さまの健康をサポートするドラッグストア・調剤薬局を展開。医薬品や健康食品、日用品など、品揃えの充実に加え、在宅調剤などのサービス拡充に取り組んでいます。</p> <p>ウエルシアホールディングス株 株イオンボディ イオンレーヴコスメ株 ウエルシア薬局株 株ウエルパーク 株クスリのマルエ 株コクミン</p> <p>コスメム株 シミズ薬品株 株ふく薬品 株フレンチ 株丸大サクラ牛薬局 株よどや 株MASAYA</p>	<p>■(公財)イオン環境財団 ■(公財)イオンワンパーセントクラブ</p> <p>■(公財)岡田文化財団</p>
<p>総合金融事業</p> <p>クレジットカード、銀行、保険を連携させた小売業発の総合金融サービスを提供。アジア各国においても展開しています。</p> <p>イオンフィナンシャルサービス株 AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD. AEON CREDIT SERVICE (M) BERHAD AEON THANA SINSAP (THAILAND) PCL. イオン・アリアンツ生命保険株 株イオン銀行 イオン住宅ローンサービス株</p> <p>イオン保険サービス株 イオン・リートマネジメント株 フェリカボケットマーケティング株 AEON Financial Service (Hong Kong) Co., Ltd. AFSコーポレーション株 ACSリース株</p>	<p>太子株式会社公開会社(2024年3月1日現在)</p>



イオン九州株式会社

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南二丁目9番11号 TEL:(092)441-0611 <https://www.aeon-kyushu.info>

